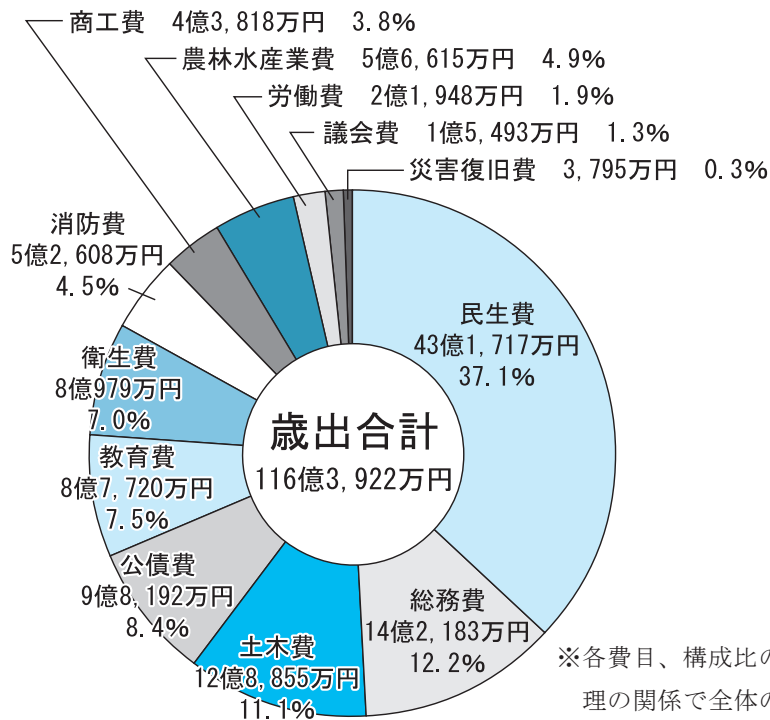
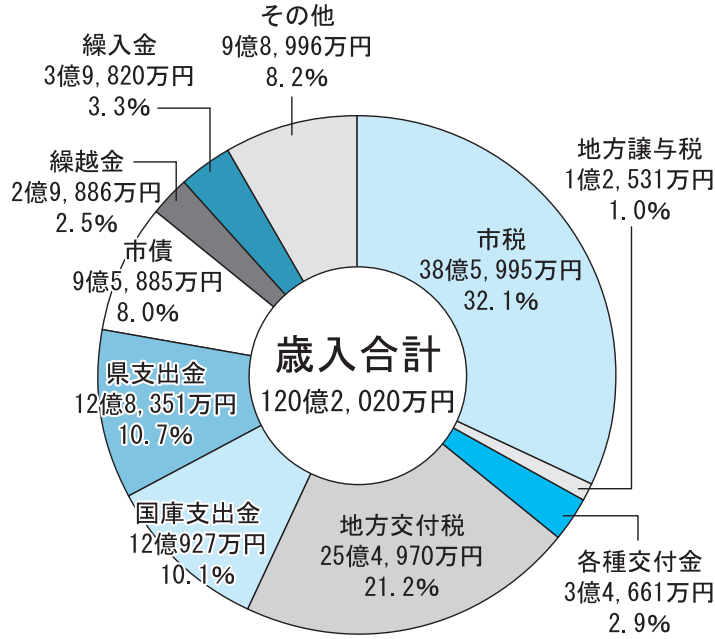


# 竹原市の財政事情

平成24年度決算及び平成25年度上半期予算執行状況

問い合わせ  
財政課 財政係  
2217731

▼図1 平成24年度の一般会計の決算状況



※各費目、構成比の合計は、端数処理の関係で全体の計と一致しない場合があります。

## 一般会計の決算状況

平成24年度一般会計決算額は、歳入120億2,020万円で、前年度(121億1,094万円)より9,074万円(0.7%)減少し、歳出116億3,922万

円で、前年度(歳出118億1,208万円)より1億7,286万円(1.5%)減少しています。また、翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、1億6,604万円の黒字となっています。

## 【歳入】

歳入の主なものとして、市税は38億5,995万円で、企業業績の落ち込みや固定資産評価替え等の影響により、前年度(40億7,905万円)と比較して2億1,910万円(5.4%)の減少となっています。

地方交付税は、25億4,970万円で、前年度(25億7,075万円)と比較して、2,105万円(0.8%)減少しています。市債は、9億5,885万円で、前年度(9億7,173万円(1.2%)減少

## 【歳出】

しています。

歳出の主なものとして、総務費は14億2,183万円で、地域情報通信基盤整備事業費等の減少により、前年度(14億7,733万円)と比較して、5,550万円(3.8%)減少しています。民生費は、43億1,717万円で、介護給付費や訓練等給付費の増加により、前年度(41億5,915万円)と比較して、1億5,802万円(3.8%)増加しています。

衛生費は、8億9,799万円で、広島中央環境衛生組合負担金の減少等により、前年度(9億7,577万円)と比較して、9,778万円(10.8%)減少しています。農林水産業費は5億6,615万円で栽培漁業センター補助金の増加などにより、前年度(4億1,352万円)と比較して、1億5,263万円(36.9%)増加しています。

## 財政構造の弾力性

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、平成24年度は99・0で昨年度（95・0）と比較して、4ポイント上昇しています。市税及び地方交付税の減少などが主な要因となっています。

## 基金残高の減少

平成24年度末時点の基金残高は39億570万円で、昨年度（42億8,303万円）と比較して、3億7,732万円（8・8%）減少しています。減少の主な要因は財政調整基金、地域振興基金、都市整備基金の取り崩しによるものです。

## 市債残高の増加

平成24年度末の市債残高は、100億2,040万円で、昨年度（98億9,501万円）と比較して1億2,539万円（1・3%）増加しています。増加の主な要因は大型事業実施に係る地方債発行額や臨時財政対策債の発行額が元金償還額を上回ったことによるものです。


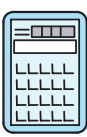

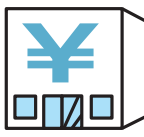








## 持続的な財政運営に向けて

今後も人口減少・少子高齢化の進行による社会保障関連経費や老朽化した施設等に対応する経費の増加が見込まれています。限られた財源で最大の効果が出るよう創意工夫のもと、「暮らしの質の向上等を図るための条件整備」や「交流人口の拡大から定住へ」とつながる施策」に取り組んでいきます。

### この言葉？

- ① 実質収支：形式収支（単純に歳入総額から歳出総額を除いたもの）から翌年度に繰り越すべき財源を控除した決算額。実質的な収入と支出の差額を示すものです。
- ② 臨時財政対策債：国から市へ交付される地方交付税が足りないため、その不足分の一部を借金してまかなっておく市債。後年度地方交付税の計算時に返済額全額が上乘せされます。
- ③ 経常収支比率：財政構造の弾力性を示す指標。この比率が高いほど経常的経費が占める割合が高く、臨時的な財政需要に使用できる一般財源が少ないことを示します。

## 住民一人当たりの使い道は？

民生費 151,347円 	総務費 49,845円 	土木費 45,173円 	公債費 34,423円 	教育費 30,752円 	衛生費 28,389円 
消防費 18,443円 	商工費 15,361円 	農林水産業費 19,847円 	労働費 7,694円 	議会費 5,431円 	災害復旧費 1,330円 

平成24年度末人口 28,525人で算出。

合計額 408,036円

▼表1 平成24年度の特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	36億4,383万円	36億4,324万円
貸付資金	1,405万円	1,405万円
港湾事業	4,797万円	3,785万円
公共下水道事業	6億761万円	6億361万円
公共用地先行取得事業	0円	0円
介護保険	32億1,538万円	31億9,783万円
後期高齢者医療	4億1,118万円	4億1,011万円

特別会計の決算状況は、表1のとおりです。

## 特別会計決算状況

# 財政健全化判断比率の状況

財政健全化判断比率については、表2のとおりです。

▼表2 健全化判断比率

健全化判断比率	平成24年度指標	平成23年度指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(14.05)	(20.00)
連結実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(19.05)	(30.00)
実質公債費比率	8.6	9.0	(25.0)	(35.0)
将来負担比率	30.5	34.0	(350.0)	—

※実質赤字額または連結実質赤字額がないため、赤字なしと記載しています。

## この言葉??

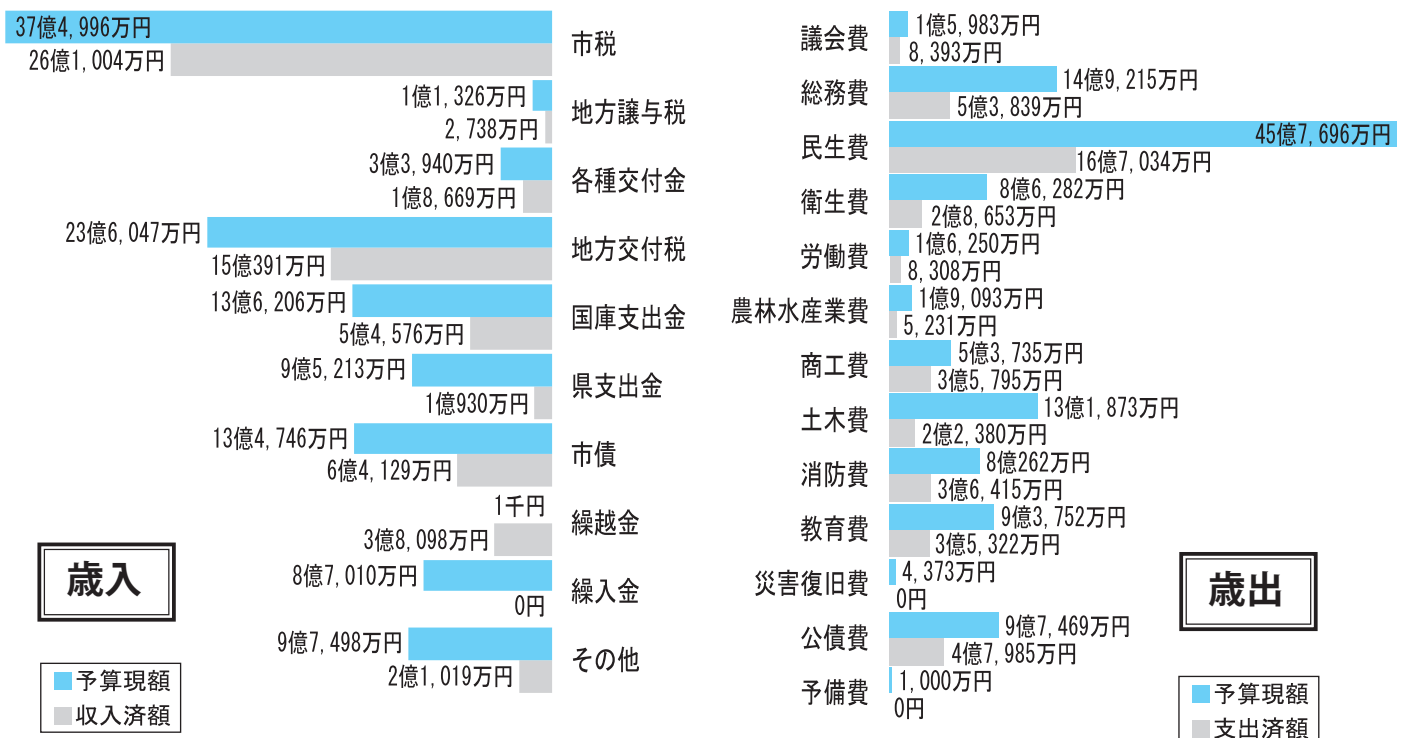
- ①実質赤字比率…一般会計等についての赤字額を標準財政規模で除したものの。
- ②標準財政規模…地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを表す指標で、地方税や地方交付税など地方公共団体が自由に使えるお金の大きさを表したものの。
- ③連結実質赤字比率…市の全ての会計の赤字額と黒字額を合算して、その赤字額を標準財政規模で除したものの。
- ④実質公債費比率…一般会計等の支出のうち、公債費や公債費に準じた経費（公債費にあてるための繰出金等）を標準財政規模で除したものの。
- ⑤将来負担比率…一般会計等が将来負担することとなっている実質的な負債（地方債償還や退職手当等）から負債の償還に充当可能な基金等の残高を控除したものを標準財政規模で除したものの。

平成25年度9月末現在の一般会計予算額は、120億6,982万円で、収入済額は9億8,393万円、支出済額は110億8,589万円（執行率62.2%）、55.4%（執行率51.5%）、支出済率は37.2%（執行率37.2%）となっています。一般会計の款別予算執行状況及び各特別会計の予算執行状況は図2及び表3のとおりです。

## 平成25年度上半期の予算執行状況

健全化判断比率はそれぞれ財政再生基準、早期健全化基準が設けられており、これらの基準を上回った団体は財政健全化計画の策定を義務付けられます。竹原市はいずれの指標も基準を下回っています。

▼図2 平成25年度上半期の一般会計の予算執行状況



▼表3 平成25年度上半期の特別会計の予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	36億6,829万円	13億5,283万円	36.9%	15億4,665万円	42.2%
貸付資金	1,104万円	521万円	47.2%	620万円	56.2%
港湾事業	4,893万円	2,875万円	58.8%	1,765万円	36.1%
公共下水道事業	6億9,119万円	1億1,695万円	16.9%	2億83万円	29.1%
公共用地先行取得事業	1,000円	0円	0.0%	0円	0.0%
介護保険	32億9,712万円	12億8,982万円	39.1%	13億1,795万円	40.0%
後期高齢者医療	4億3,978万円	1億4,653万円	33.3%	1億8,707万円	42.5%

# 水道事業会計

## 平成24年度の決算

● 収益的収支（消費税込額）  
収入総額 7億7,338万

5,612円に対し、支出  
総額 7億4,070万2,  
746円で差引当年度純利益  
3,268万2,866円と  
なりました。

● 資本的収支（消費税込額）

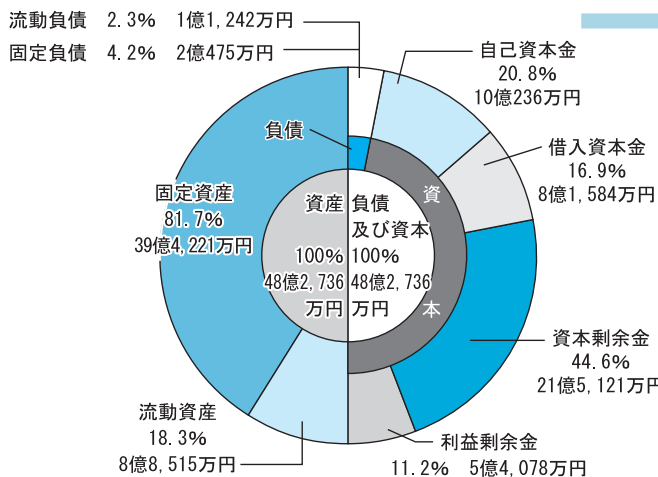
収入総額 2,148万7,  
826円に対し、支出総額  
3億8,215万7,632  
円で3億6,066万9,  
806円の不足が生じたの

で、減債積立金、建設改良積  
立金、当年度分及び過年度分  
損益勘定留保資金、当年度分  
消費税及び地方税資本的収支  
調整額で補てんしました。

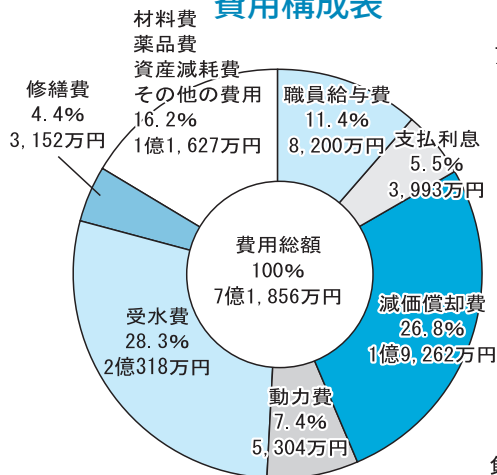
給水戸数 12,611 戸  
普及率 98.9%  
有収率 89.3%

※有収率とは、給水量に関する料  
金として回収された水量の比率

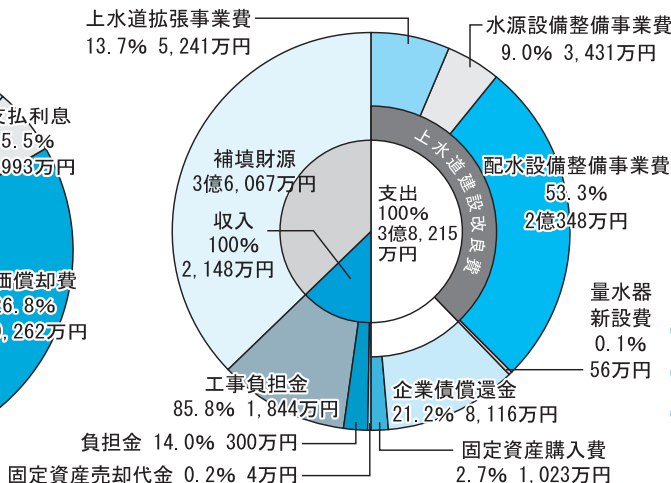
### 財政状況



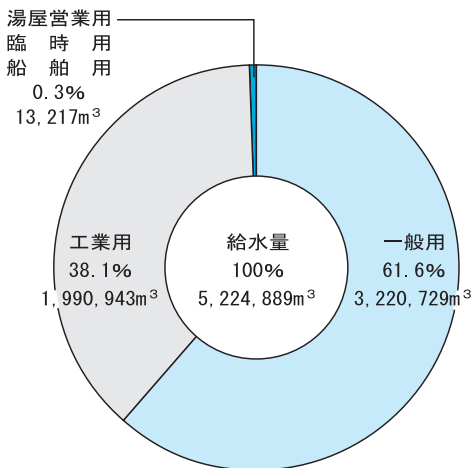
### 費用構成表



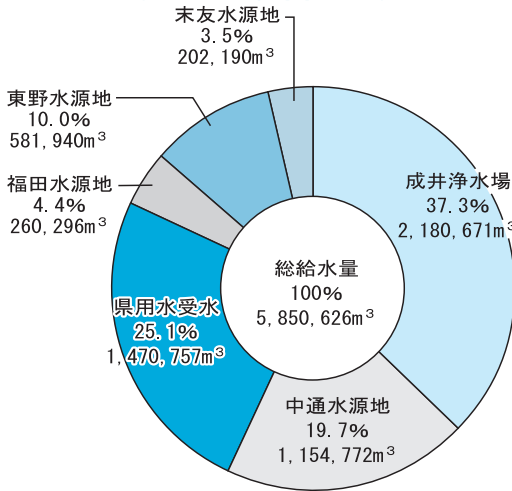
### 資本的収入及び支出の状況



### 用途別給水状況



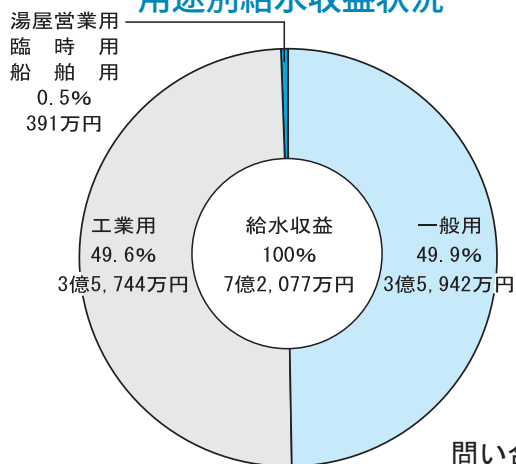
### 水源別年間給水量



### この言葉??

- ① 収益的収入  
水道の給水に関わって得る収益。水道料金、分担金、手数料など
- ② 収益的支出  
水道を給水するための経費。施設維持管理費。人件費など
- ③ 資本的収入  
施設の建設改良費に充てるため借入れた企業債や、国の補助金など
- ④ 資本的支出  
施設の建設改良費、企業債の償還金など

### 用途別給水収益状況



### 平成25年度水道事業会計上半期の予算執行状況

予算額 収入済額 支出済額

収入	区分	支出
7億8,489万円	収益的 収支	7億7,038万円
3億8,453万円		2億3,445万円
2億6,118万円	資本的 収支	3億9,646万円
0円		7,235万円

問い合わせ 上下水道課庶務係 ☎ 22-7768